

第 143 回リニアドライブ技術委員会議事録 (案)

日時：平成 27 年 2 月 20 日 (金) 15:00-17:00

場所：JR 東海品川ビル A 棟会議室

出席者：委員長 北野 (JR 東海)

副委員長 水野 (信州大)

委員 上田 (東芝), 海老原 (IEEJ フェロー), 白石 (安川電機), 長谷川 (鉄道総研)
平田 (大阪大), 藤崎 (豊田工大), 脇若 (信州大), 渡邊 (IEEJ プロ)

幹事 村井 (JR 東海)

(11 名)

提出資料

- 143- 1 第 142 回リニアドライブ技術委員会議事録 (案) (矢島幹事補佐)
- 143- 2 リニアドライブ技術委員会名簿 (矢島幹事補佐)
- 143- 3 平成 26 年度リニアドライブ技術委員会活動報告 (北野委員長)
- 143- 4 平成 27 年度活動計画 (3 次案) (北野委員長)
- 143- 5 リニアドライブ関連カレンダー (矢島幹事補佐)
- 143- 6 共通英文誌向け解説論 (メール) (北野委員長)
- 143- 7 技術委員会関連活動項目の確認 (メール) (北野委員長)
- 143- 8 平成 26 年電気学会産業応用部門研究会論文発表賞 (北野委員長)
- 143- 9 平成 27 年電気学会産業応用部門大会シンポジウム提案用紙 (矢島幹事補佐)
- 143-10 産業応用フォーラム「環境調和型磁気支持応用技術の動向」(大橋委員)
- 143-11 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会解散報告書 (矢島幹事補佐)
- 143-12 産業用リニアドライブの活用技術調査専門委員会設置趣意書 (矢島幹事補佐)
- 143-13 マグネティックス・リニアドライブ・日本磁気学会合同研究会の報告書 (藤崎委員)
- 143-14 環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会活動報告 (大橋委員)
- 143-15 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会活動報告 (矢島幹事補佐)
- 143-16 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会活動報告 (上田委員)
- 143-17 第 1 回磁気浮上技術調査専門委員会議事録 (大橋委員)
- 143-18 第 2 回磁気浮上技術調査専門委員会議事録 (大橋委員)
- 143-19 第 17 回産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会議事録 (矢島幹事補佐)
- 143-20 第 18 回多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会議事録 (上田委員)
- 143-21 第 19 回多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会議事録 (上田委員)

議事

1. 議事録確認

第 142 回委員会の議事録 (資料 143-1) について、下記を修正のうえ、承認された。

- ・ 2.9 項内の「LDA2014」を「LDIA2015」に修正

2. 報告事項

- 2.1 資料 143-2 を用いて、北野委員長から、任期満了の委員及び幹事 G に関して以下の提案があり、了承された。
 - ・ 海老原委員は退任、平田委員、増澤委員は継続。中川先生 (東京都市大) を追加。
 - ・ 鳥居幹事は、矢島幹事補佐と交替とする、また幹事補佐に鉄道総研ほか若手から追加する。
- 2.2 資料 143-3 を用いて、北野委員長から、平成 26 年度活動報告が説明された。
- 2.3 資料 143-4 を用いて、北野委員長から、平成 27 年度活動計画案が説明され、今後の調査専門委員会に関して以下の意見があった。
 - ・ 3 月に終了する MDD は開始時期を半年遅らせる。電磁関係に戻ることや、磁気ギアの取り込み等について意見があった。

・活動の活発化に向けて、4つ目の調査専門委員会が必要であり、医療福祉関係の委員会について新しい委員長候補を含めて検討したい。

また研究会開催予定に関して以下の意見があった。

・H27/6 長野開催の研究会は共催を MAG から IEEE 信越 chapter に変更したい。
・研究会開催の空白時期ができないように H28/1-3 に研究会を開催したい。時期としては原稿作成が卒論作成と重複しない1/末が適切である。

2.4 資料 143-5 を用いて、北野委員長から、リニアドライブ関連行事が説明され、更に LDIA2017 の準備状況について以下の補足説明があった。

・LDIA2017 開催場所は、当初、大阪工大にて検討していたが、休憩場所の使い勝手も考え、関西大も確認中である。

2.5 資料 143-6 を用いて、北野委員長から、共通英文誌向け解説論の募集が説明されたが見送ることとなった。

2.6 資料 143-7 を用いて、北野委員長から、関連活動項目の確認が説明され、以下の意見があり、村井幹事、長谷川委員にて集約することとなった。

・リニアモータにリニア発電機も追加

・磁気浮上は磁気支持・磁気伝達に変更。磁気支持方式を最新にするとともに、磁気ベアリング・ギアを追加

・材料技術は電磁材料に変更し、軟磁性材料、磁歪材を追加

・新たなカテゴリーとして非接触給電を追加

2.7 資料 143-8 を用いて、北野委員長から、優秀論文発表賞が説明された。

2.8 資料 143-9 を用いて、水野副委員長から、平成 27 年度部門大会シンポジウム案が説明された。

2.9 資料 143-10 を用いて、長谷川委員から、産業応用フォーラム「環境調和型磁気支持応用技術の動向」が案内された。

2.10 資料 143-11 を用いて、水野副委員長から、本部に既提出の産業用リニアドライブ技術応用展開調査専門委員会解散報告書が説明された。同じく資料 143-12 を用いて、産業用リニアドライブの活用技術調査専門委員会設置趣意書が説明された。

2.11 資料 143-13 を用いて、藤崎委員から、マグネティックス・リニアドライブ・日本磁気学会合同研究会の報告があった。

3. 審議事項

なし

4. 各調査専門委員会

資料 143-17~143-21 を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

*) 技術委員会終了後、海老原委員から委員退任の挨拶があった。

次回（第 144 回）開催予定：2015 年 4 月 24 日（金）15:00-17:30 JR 東海品川ビル

以上